

2019年3月期 連結決算ハイライト (IFRS)

■増収増益。税引前利益は過去最高。

◇収益	7,238 億円	1.3% 増収
◇営業活動に係る利益	303 億円	16.0% 増益
◇税引前利益	292 億円	12.0% 増益
◇親会社の所有者に帰属する当期利益	166 億円	1.8% 増益

■期末配当予定は35円に増配。(2020年3月期年間配当予想は60円)

損益の状況						
(単位:億円)	2018/3期 通期	2019/3期 通期	前期比		2020/3期 見通し	
			増減額	増減率	見通し	前期比 増減率
収益	7,148	7,238	91	1.3%	7,400	2.2%
売上総利益	1,064	1,100	36	3.4%	-	-
販売費・一般管理費	△ 784	△ 804	△ 20	-	-	-
その他の収益・費用	△ 18	7	25	-	-	-
営業活動に係る利益	262	303	42	16.0%	310	2.1%
利息収支	△ 21	△ 23	△ 2	-	-	-
受取配当金	11	12	1	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 7	△ 4	3	-	-	-
金融収益・費用	△ 17	△ 15	2	-	-	-
持分法による投資損益	16	4	△ 12	-	-	-
税引前利益	260	292	31	12.0%	300	2.8%
法人所得税費用	△ 64	△ 87	△ 23	-	-	-
当期利益	197	204	8	4.0%	-	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益	163	166	3	1.8%	170	2.4%
1株当たり利益 (円)	193.79	198.22	4.43	2.3%	202.93	2.4%

【収益】
食料セグメント、車両・航空セグメントを中心に、91億円の増収。

【営業活動に係る利益】
食料セグメント、電子・デバイスセグメントを中心に、42億円の増益。

【税引前利益】
持分法による投資損益が前期より悪化したものの、営業活動に係る利益の増加により、31億円の増益。

【親会社の所有者に帰属する当期利益】
前期一過性の法人所得税費用良化要因が消滅したため、3億円の増益。

資産・負債及び純資産の状況				
(単位:億円)	2018/3末	2019/3末	前期末比	
			増減	増減率
総資産	5,199	5,495	296	5.7%
グロス有利子負債	1,373	1,395	22	1.6%
ネット有利子負債	590	500	△ 91	△ 15.4%
自己資本 (注1)	1,160	1,252	92	8.0%
内、利益剰余金	486	607	122	25.1%
内、その他の資本の 構成要素合計	131	112	△ 18	△ 14.1%
自己資本比率 (注2)	22.3%	22.8%	0.5pt上昇	-
ネットDER (注3)	0.51倍	0.40倍	0.11pt減少	-

【総資産】
流動資産の増加等により、296億円の増加。

【有利子負債】
ネット有利子負債は91億円の減少。

【自己資本】
利益剰余金の積上げ等により、92億円増加。

自己資本比率は22.8%、ネットDERは0.4倍の水準。

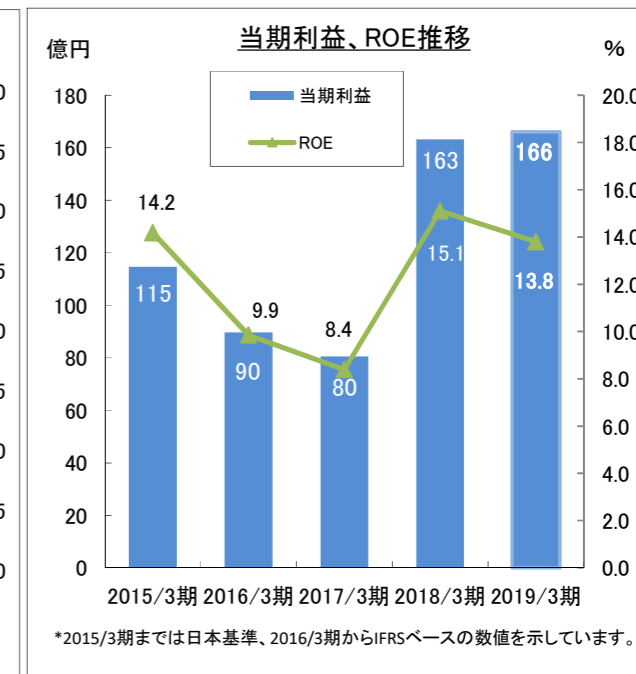
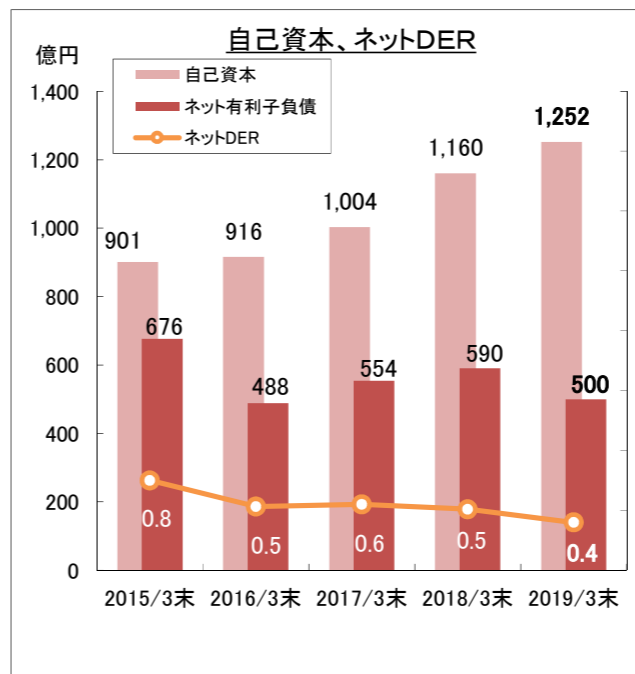
(注1)自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

キャッシュ・フローの状況			配当の状況		
(単位:億円)	2018/3期 通期	2019/3期 通期	【2019/3期】		
			中間配当	1株当たり 25 円	
営業活動によるCF	4	247	期末配当(予定)	1株当たり 35 円	
投資活動によるCF	11	△ 66	年間配当(予定)	1株当たり 60 円	
フリーキャッシュフロー	15	181	【2020/3期】		
財務活動によるCF	△ 8	△ 72	中間配当(予想)	1株当たり 30 円	
現金・現金同等物の増減	7	110	期末配当(予想)	1株当たり 30 円	
			年間配当(予想)	1株当たり 60 円	
			2018/3期	2019/3期	2020/3期
連結配当性向	24.8%	30.3%	24.8%	30.3%	29.6%

【営業活動によるCF】
営業収入の積上げ等により、247億円のキャッシュ・イン。

【投資活動によるCF】
子会社の取得や持分法適用会社への出資等により、66億円のキャッシュ・アウト。

【財務活動によるCF】
社債の償還による支出等により、72億円のキャッシュ・アウト。



*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
*記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。

セグメント情報						
(単位:億円)	収益			営業活動に係る利益		
	2018/3期 通期	2019/3期 通期	前期比 増減	2018/3期 通期	2019/3期 通期	前期比 増減
電子・デバイス	2,633	2,655	22	176	185	10
食料	2,313	2,449	136	21	40	18
鉄鋼・素材・プラント	1,531	1,394	△ 136	39	44	5
車両・航空	545	621	76	25	25	0
報告セグメント合計	7,021	7,119	98	262	295	33
その他(含む調整額)	127	120	△ 7	△ 0	9	9
総合計	7,148	7,238	91	262	303	42

【電子・デバイス】増収増益
ICTソリューション事業は、製造業、サービス業向けを中心に堅調に推移。モバイル事業は、携帯電話販売代理店子会社の統合効果継続により順調に推移。電子機器事業は、100%子会社化したカードプリンター事業会社における大口案件などにより、業績底上げ。一方で、半導体部品・製造装置事業は、需要の低下に伴い苦戦。

【食料】増収増益
食糧事業は、国内飼料価格が安定的に推移し好調に推移。畜産事業は、相場の変動があったものの堅調に推移。食品事業は順調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】減収増益
エネルギー事業は原油価格の一時的な下落により苦戦。北米における油井管事業は、活発な掘削需要を背景に好調。工作機械・産業機械事業は国内の底堅い需要により好調に推移。

【車両・航空】増収増益
航空・宇宙事業は、航空機部品ビジネスを中心に順調に推移。ロケット打上げビジネスに参画するなど事業領域を拡大。車両・車載部品事業は、中東向け取引の減退はあったもののアジア市場拡大に伴い部品ビジネスが堅調に推移。